#### 第6学年 体育科保健領域学習指導案

**1 単元名** 病気の予防 ~自分で守る、未来の自分~ (7/8時間目)

#### 2 単元の目標

がんを予防する生活習慣や地域の保健活動の取組に関する知識を活用し、健康な生活を送るための健康 行動を考えることができるようにする。

# 3 単元の評価基準 (参考: 文部科学省 小学校学習指導要領 解説 体育編 H29.7 P155-156)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評	①病気の予防について病気の	病気の予防に関する課題を	既習事項を生かし、病気の
価	発生要因や予防方法について	見付け、より良い解決に向け	予防について自分の考えを書
基	理解している。	て思考し、判断するととも	いたり、まとめたりしたこと
準	②飲酒, 喫煙, 薬物乱用が健	に、それらを表現している。	を班や全体へ伝えようとして
	康に与える影響についての知		いる。
	識を理解している。		

# 4 単元と指導の構想

#### (1)単元と児童

学校では、毎年健康診断が実施されている。健康診断の結果は子どもを通して家庭に通知され、健康状態や発育の状況の把握、疾病の早期発見、早期治療へとつながっている。各種の健康診断や計測の場面では、自分の身体に関心をもって検査を受ける子どもの姿がある。しかし、健康への関心を維持するのは難しく、健康診断後の受診状況を見ても、受診が必要な状況の子どもほど受診しない傾向もみられる。子どもの受診行動は家庭環境に左右される部分が大きいが、将来自分で健康管理ができる子どもを育てるためには、健康に関わって適切な意思決定と行動選択ができる力「ヘルスリテラシー」を育てていく必要がある。そこで、今回は生活習慣病の予防と地域の保健活動に関わって、「がん」と「がん検診(保健活動)」を題材に、課題解決に向けた思考・判断とそれらを表現する活動を設定する。

#### (2) 指導の構想

「がん」は生涯罹患率が50%を超え、2人に1人が罹患する身近な病気であり、子どもの認知度も高い。そして、子どもの多くに「がん=死」という先入観があり、怖い病気、死ぬ病気というイメージをもっている。しかし、実際には、がん検診などで早期発見したがんの5年生存率は9割を超え、がんは死ぬ病気ではなくなりつつある。それにもかかわらず、日本のがん検診の受診率は先進諸国の中で際だって低く、がんの罹患率も増加している。国民病ともいえるがんを防ぎ、早期発見をするためには、がんを予防するための生活習慣、早期発見のための検診について理解することが大切である。しかし、それだけでなく獲得した知識を活かして、自分なりに大切だと思う健康行動を思考、判断できることは、さらに重要なことである。本単元では、病気の予防方法を学ぶだけでなく、早期発見や回復のための健康行動について考えることを通して子どものヘルスリテラシーを高めていく。

## 5 単元の指導計画 (参考: 文部科学省 小学校学習指導要領 解説 体育編 H29.7 P155-160)

		学習のねらい(○)と主な活動内容(・)	知	思	態	評価
1	病気の起こり方	○病気は,病原体,体の抵抗力,生活行動,環境	0			病気は,病原体,
	学級担任	などが関わり合って起こることを理解する。				体の抵抗力,生活
		・「かぜ」をひく原因を考えることを通して病気				行動,環境が関わ
		は病原体,体の抵抗力,生活行動,環境が関わ				りあって起こるこ

		りあっておこることを知る。				とを、記入してい
						る。 (ノート)
2	感染症の予防	○病原体が主な要因となって起こる病気の予防に		0		学習内容を基に
	学級担任	は、病原体が体に入るのを防ぐこと、体の抵抗				感染症の予防方法
		力を高めておくことが必要なことを理解する。				を多角的に発言,
		・インフルエンザ等の病原体が主な要因となって				記入している。(ノ
	<b>上江羽柵庁のマ</b> 肚	起こる病気の予防方法を考える。				ート) #エのサナギサ
3	生活習慣病の予防	○生活行動が主な要因となって起こる病気の予防	0			生活の仕方が生活習慣病の原因に
	〈生活習慣病とは〉	には健康によい生活習慣を身に付けることが必 要であることを理解する。				なることについて
	〈むし歯、歯周病〉	・生活習慣病を予防するにはどんな生活をすれば				理解したことを言
	学級担任	良いか考える。				ったり、書いたり
	7 1001212	20. 10 372 30				している。(ノー
						k)
4	飲酒と喫煙	○喫煙と飲酒が健康に及ぼす害について理解す		0		喫煙と飲酒の健
	担任,養護教諭	る。				康への影響につい
		・喫煙の健康への影響、長期間にわたる多量の飲				て、学んだことを
		酒の害を知る。				活用し健康を守る
		・未成年者の喫煙の害、周りの人等への影響につ				ための標語を書く
		いて知る。未成年者の飲酒の害について知る。				ことができる。(ワ
	ルダ辺掛点できば	・学んだことをもとに、標語を作る。				ークシート)
5	生活習慣病の予防	○がんという病気について理解する。		0		がんについて、
	② 〈がんってどんな	・がんは日本人の2人に1人は生涯で罹患すること,発生要因(生活習慣,飲酒,喫煙,感染,				だれでもなるかもしれない病気、生
	病気〉	遺伝,原因不明)について,初期は症状が出な				活習慣などが要因
	担任、養護教諭	いがんもあることを知る。				となること等、理
	11年,民政协制	· / / 0 00/ a C C 2/4 a 0				解したことを言っ
						たり、書いたりし
						ている。(ノート)
6	地域の保健活動①	○人々の病気を予防するために、保健所などで健			0	地域の健康をも
	養護教諭	康な生活習慣に関わる情報提供や予防接種など				まるためにさまざ
		の活動が行われていることを理解する。				まな保健活動が行
		・地域の保健活動にはどんなものがあるのか、地				われていることを
		域の広報誌を見ながら活動を分類する。				調べようとしてい
						る。(観察)
7	地域の保健活動②	○がんを予防するためには、どんな健康行動を啓 ※したいなる者ところ。		0		既習事項を生
本	〈がんを予防し,早期	発したいかを考える。				かしてがんの予防
時	発見するには〉 担任,養護教諭	<ul><li>○がんの予防や、早期発見をすることをがんの予防ととらえ、がん予防のために、どんな内容を</li></ul>				方法を考え、自分が伝えたい予防方
	14年,食喪祭副	めことらえ,かん アめのために, とんな内谷を 伝えていったらよいだろう。				法を発言、記入し
		ACCC				ている。 (ワーク
						シート・ノート)
8	薬物乱用防止教室	○薬物乱用は、1回の乱用でも死に至ることがあ	0	<u> </u>	<u> </u>	薬物乱用につい
	担任,学校薬剤師	り、乱用を続けると心身の健康に深刻な影響を				ての害や法律につ
		及ぼすことを理解する。				いて理解してい
		・薬物乱用の害,薬物依存について知る。				る。 (ノート)
		・薬物乱用の社会への悪影響を知る。				

#### 6 本時の計画

## (1) ねらい

がん予防を啓発するためのポスター作り活動を通して、がんを予防し、早期発見するための健康行動を考えることができる。

# (2) 構想

本時は、保健活動の一環であるがん検診を取り上げる。本単元においては、がんについて扱う2時間の2時間目である。1時間目にアンケートの結果からがんに対するイメージを共有し、がんとはどのような病気であるかを学んだ。その中で、がんは一生のうちで2人に1人がかかる身近な病気であること、生活習慣病の1つでもあり、「がんリスクを減らす健康習慣」にあるような、生活習慣によって予防できることを学んだ。

本時においては、まず、がんは早期発見をすれば治る病気であることに触れ、地域のがん検診受診率と受診しない理由を提示する。地域の保健活動の一環であるがん検診は近隣で無料で受けられることに触れ、子どもは、がん検診の受診率の低さについて課題をもつ。そこで、地域の人にがん予防やがん検診を啓発するための活動を設定する。子どもは、既習のがんを予防する生活習慣や地域の保健活動の取組に関する知識を想起しながら、自分ならどのような行動が大切かを考え、啓発を考える。そして、ロイロノートを使用し、それぞれのアイディアを共有しつつ、より伝えるためのポスター案をグループで作成する。子どもは、これらの活動を通して、がんを予防したり、早期発見するために、大切だと思う健康行動を、今までの既有の知識を基に選択したり、実生活と関連付けたりしながら、思考、判断する。

#### (3)展開

学習活動		教師の働き掛けと予想される児童の反応	■評価基準 · ○留意点
導入(15分)	T 1	がんはどんな病気ですか。	○身近な人ががんに関わって
1前時の学習	C 1	がんは一生で2人に1人はかかる。	いる人がいることも踏ま
を振り返え	C 2	毎年 100 万人もなる。	え、配慮する。
る。	C 3	生活習慣で出来る予防もある。	
2早期がんと	Т 2	がんについて再度、教えていただきましょう。	○比較させ、早期に見付ける
進行がんの	Т 3	早期がんと進行がんの5年生存率のグラフを提示する。	ことで生存率が大きく違う
5年後生存		80%	ことから、早期に検診を受
率を比較す		60%	ける大切さを感じさせる。
<u>る。</u>		40% 20% P.期がん 進行がん	
	C 4	早期(がんが小さいうち)に、検診で見付けた方がいいね。	
	C 5	早く見付けるために検診って大事だね。	
	C 6	検診は受けないといけないな。	
	T 4	皆さんだったら,がん検診を受けたいですか。	
	C 7	受けたい。	
	C 8	もちろん。	

- T5 みんな同じ気持ちですよね。この地域では何%の人が がん検診を受けていると思いますか。
- C9 2人に1人だから50%だよ。
- T 6 実は, □%です。
- C10 えー!!全然,受けてないよ。なんで。
- C11 早期発見すれば治るのになぜ検診を受けないの、おかし いよ。
- ○地域の肺がん検診受診率(令 和元年)を提示する。

# 3受診率の低 さから問題 意識をも

つ。

# T7 どうして受診率が低いのでしょうか。

- C12 忙しい? 時間がとれないのかな。
- C13 ただ行かない, 気にしてないんじゃない?
- C14 お金がかかるんじゃないかな。
- C15 がん検診を知らない人もいるんだね。
- C16 命に係わるから時間を作って受けたほうがいいと思う。
- T8 みんなが住む地域ではがん検診がどのようになっている のかな。
- C17 遠くまで行かなくても受けられるね。
- C18 無料の検診もあるね。
- C19 なんで、行かないのだろう。検診に行った方がいいよね。
  - T 9 この状況をどうしていきたいですか。 家族や地域の人に知らせるにはどうしたらいいで しょうか。
- C20 変えたい。多くの人にがん検診に行くように伝えたい。
- C21 呼びかけたらいいよ。
- C22 ポスターとかを作って、掲示しよう。
- C23 駅,公民館,病院に貼ったらいいよ。
  - T10 がんを予防するために、ポスターでどんな内容を 伝えたらよいだろうか。

- 児童より出なかった物を 紹介する。
  - H29 年度市政世論調査か らがん検診を受けない理由 『費用がかかる』『必要性 を感じない』『検診を知ら なかった』『時間がない』 『がんと分かるのが怖い』
- ○地域の検診案内を iPad に提 示し説明する。
- ○児童の「伝えたい」 気持ち を引き出し、児童ができる 方法としてポスターを出さ せる。

# 展開 (25 分) 4個人で伝え たい内容を 考える。

- T11 がん予防について伝えるなら、どんな内容を伝えますか。 今まで学んだことを生かして、考えましょう。伝えたい内 容のポスターを選び、選んだ理由を書きましょう。
- |C24||今の生活がいつかがんにつながるかもしれないから,今を|○以下の内容でポスター画像 見直すことも大切と考えたから。(①)
- C25 たばこをすっている人だけでなく, けむりも害があり, が んにつながっているから。(②)
- C26 市の検診は近くでやっていて,無料のこともある。定期的 な検診で早期発見してほしいから。(③)
- C27 がんは早く見付けると治るかもしれない,がん=死ではな い。がんについて正しく知ることが大切と思うから。 (4)

- ○iPad のロイロノートを使用 する。
- の元を iPad のロイロノー トで配信する。
  - ①生活習慣を表す内容
  - ②飲酒や禁煙を表す内容
  - ③検診を表す内容
  - ④知る・調べるを表す内容
- ○選んだポスターに理由をつ け, iPad のロイロノート へ提出させ, テレビで全員 のポスター案を共有する。

# 5 班でポスタ ーの案を作

T12 班になり、見出しを付けたポスター案を作りましょう。 なぜその見出しなのかの理由も付けて、発表しましょ う。

#### <活動内容>

- ①選んだ理由を紹介し合い, 伝える (訴える) ためのキ ャッチコピーを完成させる。
- ②伝えたい理由を書き込む。
- T13 自分の班のポスター(案)を発表しましょう。 キャッチコピーと,このポスターで何を伝えたいのか, 理由を発表させる。

## 6まとめる

T14 がんの予防のために大切だと思うこと、ポスターで伝える とよいことはどんなことですか。

がん予防にはポスターで「普段からよりよい生活習慣を送 る。がん検診を受けにいくことが大切。がんを正しく知り, 伝える行動することが大切」という内容を伝えるとよい。

- ○選んだ内容ごとにその場で 班を作る。
- ○人に訴えかけるためのポス ターであることを再確認す
- ■ポスターに既習事項を含ん だ理由が記入できる。(ワ ークシート)
- ①生活習慣を表す内容
  - ・肥満、栄養バランス不良 はがんにつながる。
  - ・生活習慣を注意すること で危険性を減らせるがん もある。

#### ②飲酒や禁煙を表す内容

- ・長年の大量飲酒は、いろい ろながんにつながる。
- ・喫煙は, 主流煙も副流煙も 有害物質が多く含まれ,が んにつながる。
- ③検診を表す内容
  - ・早期発見で,5年生存率が 伸びる。
  - ・がん検診は近くで無料で 出来るものもある。
- ④知る・調べるを表す内容
  - ・正しい情報を知る(伝え る) ことが大切。
  - ・恐れるよりも知る, 行動す ることが健康につながっ ていく。

7振り返る

- |振り返り|(5分)|T15 体育ノートに振り返りを記入しましょう。
  - C28 ① 検診を受けることが大切な病気。
  - C29 ① がんは早く見付けたら治る病気。
  - C30 ③ 早期発見で 6 割以上は治るのだからがん検診は必ず受 けたい。
  - C31 ③ がんになりたくないから絶対に健康診断を受けたい。
  - C32 ③ がんになっても早期発見なら9割以上が治るので,健 ③大人になったらがん検診を 康診断を受けると思う。
- ○当校の振り返りを使用し, 指示する。
- ①学習前と比較してがんにど んなイメージになったか。
- ②今日、学んだことはどんな ことか。
  - 受けたいと思うか。その理 由と思いの強さはどのくら いか。
  - ■②③でがんを予防するため の健康行動を記入すること ができる。(体育ノート)
  - ○終了後,体育ノートは写真 に撮り, iPad のロイロノー トへ提出する。

# (4)評価

がん予防を啓発するためのポスター作りの活動を通して、がんを予防するための健康行動を考えることができる。(思考・判断・表現)

# 7 参考文献・資料

- 文部科学省「小学校学習指導要領解説保健体育編」(文部科学省 平成 29 年 7 月)
- ・新潟県教育委員会「学校におけるがん教育の手引き」(平成31年2月)
- ・新潟市江南区,区役所だより こうなん, (第330号,第331号,第334号,第336号,第341号,第343号,第346号)
- (c) 国立研究開発法人国立がん研究センター, 科学的根拠に基づくがん予防, がん情報サービス, 2020 年 10 月 29 日, https://ganjoho.jp/public/index.html, (参照 2021 年 8 月)
- ・がんのことをもっと知ろう指導書 「がんのことをもっと知ろう一指導書―」編集委員会 編 2014.3